

花 山 だ よ り

花山天文臺で最も工事の遅れた「子午線館」が十月十二日に出来上つたので、いよ々々落成祝賀の催しを豫定通り行なうこととなり、四五日は實に忙殺された。天氣は可なり心配であつたが、十六日の朝からからりさ晴れて、落成祝賀の頃は上々の晴天續きであつた。

豫定通り、十七日の祭日は天文部關係者のみの會で、午前中から、松茸狩りやら、テニスやら、スキャキ午餐會やら、學會やらで愉快に過した。十八日は公開日であつたが、一般社會の休日でないため、午前午後を通じて約百名の來觀者に過ぎなかつた。

十九日は午前中公開、朝早くから山科の小學校生徒が来るやら、其の他いろいろの人々が來て、半日間に約四百名と思はれた。午後是一般人士に公開せず。唯、大學の職員たちと、特に招待した人々のみを場内に案内し、茶菓のもてなしをした。午後四時から屋上の露臺で祝賀式舉行。之れには山本教授が座長として、先づ一場の挨拶を述べ、次いで武田營繕課長の工事報告、新城總長の演説、石井陸軍少將の祝辭。及び中井三之助氏の祝辭があつた。此の日、大學以外からの來賓中には、府知事(代理)、師團長、商工會議所會頭、内匠寮出張所長、野村徳七氏等があつた。其の後、午後六時半からは總長主催の祝賀晚餐會が都ホテルで開かれ、約四十人の主客が天文談を中心として歡談した。

二十日は午前中一般公開をしたが、日曜でもあるので、早朝から多くの人々が押しよせ、正午公開を閉ぢるまでに約六百の入場者があつた。午後は天文同好會の總會で、先づ二時から圖書室で講演會。山本百濟兩氏の講演があり、少憩後、協議會が開かれた。山本氏座長となり、諸報告の後、同好會の發展策につき、種々協議した。此の日集まつた會員約六十名。静岡、東京、岡山、廣島、鳥取なぞの遠地からの來會者もあり、中々の盛況であつた。

此の四日間の騒ぎがすんで、二十一日からは天文臺全體が俄かに靜かになつた。